

# 会 議 錄

会議名	令和7年度第2回 辰野町図書館協議会
開催日時	令和7年12月16日(火)午前9時00分~9時50分
場所	辰野町立辰野図書館2階会議室
出席者	委員6名中4名、事務局(宮澤教育長、福島館長、辰野図書館職員3名)
会議次第	進行 課長 1. 開会のことば 2. 教育長あいさつ 3. 協議事項(進行 会長) 1) 令和7年度図書館利用状況 2) 令和7年度図書館事業等報告 3) 令和8年度予算・事業計画 4) その他 4. 閉会のことば
会議結果	3. 協議事項(進行 会長) 1) 令和7年度図書館利用状況 2) 令和7年度図書館事業等報告 3) 令和8年度予算・事業計画 辰野図書館職員から一括説明し、質疑を経てご了承いただく。 4) その他
発言者	発言の内容
教育長	<p>おはようございます。</p> <p>いよいよ12月もあと10日ほどとなり、令和7年も終わろうとしている。</p> <p>今年1年振り返ってみると、辰野図書館では戦後80年ということで、大きな催しを継続的にやっていただいた。まさに図書館職員の精力的な努力だと思う。その後を締めくくったのが、先日14日に行われた、矢島良幸先生の「平和を祈るー98歳を生きてー」という講演会。私もタベ、『草の根の語る私の戦争体験』を読んでみた。そんな中で、もしあの当時、私があの場にいたら、あの状況に置かれたなら、何ができたのか、どういう行動を取ったのか考えてみたが、何もできなかっただろう。与えられる情報はほとんどない、欲しい情報が得られない。得られる情報は都合のいい情報だけ。そんな中で、国民がそれを信じてそれに向かっていったのは当然だったのではないかと思う。情報を得る、えていくことが非常に大事だと、改めて思った。</p> <p>ちょうど今日が議会の最終日。今回の議会の一般質問で、図書館に関わる質問をたくさんいただいた。図書館とは何か、役割は何か。これに関して福島課長が、図書館法や文科省の省令などをもとに答えた。図書館の使命として、国民の知る自由を保障し、資料と施設を提供する。さらに文科省によると、これらの図書館の施策委のあり方として、いくつかあるがその中に、資料の提供をするのみならず、読書会・研究会・鑑賞会・映写会・資料展示会等を施策し、及びこれらの開催を奨励するための企画展示を行うとともに…と続いている。まさに町民に適切な情報を与え</p>

	<p>る、その場を提供する、それに関わった展示や催しをしていくという大事な使命もある。辰野図書館はこれにそってやっていると、力強く思った。</p> <p>今日は1年間もまとめとなるが、様々な角度から委員の皆さんも振り返って、反省等出していただきたい。よろしくお願ひします。</p>
会長	<p>おはようございます。</p> <p>今年は戦後80年。辰野図書館も努力いただき、様々な催しを進めていただいた。私もごく一部だがお手伝いをした経過があるが、本当に疲れ様でした。</p> <p>今日のたつの新聞に議会の報告が載っていた。辰野町の今後の平和教育をどうするかという質問があり、福島課長が今後も平和に関する取り組みを継続していくたいという回答だった。私も個人的にはそうした問題に関心を持っているが、一連の催しの中で一つ残念だったことがある。それは、本当に聞いてほしい、これから時代を担っていく若い世代の人たちの参加が少なかったこと。これは図書館の業務も含めてだが、若い世代をどうやって取り込んでいくか、大きな課題の一つだと思う。</p> <p>今日は限られた時間だが、ご意見などいただきたい。よろしくお願ひします。</p>
事務局	(協議事項を一括説明)
会長	説明を受け、質問や意見等あるか。
委員A	議員さんからの質問があったという話があった。前から疑問に思っていたが、以前は図書館協議会に議員さんが必ず1人は参加していたが、最近はいらっしゃっていない。どのような経緯で参加していないのか。
事務局	議員さんの負担を減らす方向で、参加しなくなつた。
教育長	図書館協議会だけではない。町の様々な委員会等、議員さんが参加していた会は今までかなりあったが、今はほとんど参加していない。
委員A	図書館協議会の性質や何のためにあるのかという認識が、何となく私の中でぼけてしまっている。議員さんが図書館協議会に参加をしていた頃は、議員さんの様子を見ていると、議会にある程度反映してくれているのではないかという印象を受けていた。そういう意味で、図書館協議会が何のためにあるのか、再定義してもらいたい。
会長	私も協議会に関わって長くなる。最初の頃は議員さんも参加していた。議員にお願いすることは、図書館業務の実態を把握してもらいたいということ。ぜひ予算を減らすことのないようにということ。私の意見だが、議員の皆さんには予算審議等の大変な仕事があるので、まず実態を知ってもらう。図書館の業務について質問があったとのことなので、議員さん自身が忙しい中だが、町の重要な施設なので、どういうことが行われているか、常に触れていただきくなり、実態を知ってもらいたい。私たちの願いである図書館の充実、予算の充実に理解をいただきたい。 議会のほうから、議員の負担を減らすような依頼があったのか。
館長	議会事務局から。その裏には議員さんからの声があったのかもしれないが、我々には事務局から、議員の負担軽減として話がおりてきている。
会長	改めて議員さんに図書館協議会に参加していただくような要望を出すかださないかは置いておいて、議員さん全員に何らかの形で実態を知っていただきたい。図書館にも足を運んでほしい。

委員 A	議員さんとしても、図書館に文化の拠点として頑張ってほしいという気持ちがあつて質問をしたと思う。実態を知ると、少ない人数でよくやっている、これ以上何かやるのは酷だと思ってしまう。だからこそ実態を知つてもらいたい。
会長	貴重なご意見ありがとうございました。 図書館として何か困っていることがあるか。
事務局	最近の学生の利用方法について。学習室やふれあいルームで静かに学習をしている学生が多いが、飲食可能スペース（風除室や会館通路）で騒いだり、公共の場では控えてもらいたい行為をする方もいる。職員が何度か声をかけ話をしたが、直接目が届かない場所でもあるので、利用は続いている。10～15分おきに職員が見回りをしなければいけないほど。引き続き注意していくしかないのかと感じている。
会長	良識に訴えるか、各学校にお願いするか。どうしてもそのようなことはどの図書館でもある。監視カメラをつける話はあるか。
事務局	1階には監視カメラあり。「防犯カメラ作動中」という掲示を館内にいくつかしているが効き目はなし。2階にも設置できるか業者へ相談中。配線確認をしなければというところ。
会長	こういうご時世。予算のかかることだが、1つの検討事項としてほしい。 せっかくの機会なので、委員の方、それぞれ現況報告を。
委員 B	保育園の読み聞かせや移動図書、えほんのへやに招待していただきありがとうございます。保育園の中では、本に親しむ機会を職員が作っている。寝る前に読んだり、横になっているときに読み語りをしたり。どうしても保育園にある本だけには幅が狭くなってしまう。大型絵本などは保育園にはあまりないので、図書館にある大型絵本などをぜひ読み聞かせしてもらうと、子どもたちも楽しく読めて、もっと本に興味を持てるのではないか。
委員 C	朝の読書を各クラス回すのではなく、希望するクラスにしているが、だんだん希望するクラスが増えてきた。中学校は、直接子どもと顔を合わせる機会が少ないので、そういうときに声をかけたり、どんな本を読んでいるか確認がけたりする。 小学校から上がってくる中学1年生、今年度は特に、本は好きだが、内容は、ドラえもんの科学ワールドや簡単に読める図鑑など。読書というより、楽しみに読むものが増えてきている。1年生はいまだに漫画だけ読んでいる子がいる。朝来てくれるクラスの子には、そろそろ違うという話をして、じゃあどんな本がいいのか、こういう本はどうかという話をする機会になっている。クラスによって差ができるので、他の部分で声をかけたり、この子がきたらこの本を渡そうというような考えをもったりしている。 また、リクエストはきたときに、その本だけでなく違う角度の本を買うなど、1冊のリクエストに対してその周辺の本を4冊買って薦めると借りてくれる。それを周りの子たちに話して広がっていく。小さいことだが地道にコツコツ積み重ねている。
委員 A	戦後80年のイベントの数々、お疲れさまでした。 先ほど話に出たが、若い世代を取り込んでいくことは大事だが難しいと感じる。 戦後80年特別企画の中で、登戸研究所に関する講演会があったが、講師にはどのようにお願いしたのか。
事務局	図書館から直接連絡を取つて依頼をした。
委員 A	研究所に関して少し調べてみたが、中学生が行事のときに行つてているということも知つた。若い人を巻き込むイベントなど平和教育も兼ねてできることがあれば。

	<p>個人的には、読みたい本はたいてい所蔵があり、本も充実していると思う。高齢者にとってはありがたい図書館だと思う。</p> <p>中学校の実態を知ると、学校図書館のようなアプローチを、町の図書館でもできるのだろうか。学校図書館と町の図書館では役割が違うのか。</p>
委 員 C	<p>役割は違うと思う。町の図書館はすべての年代が対象。ただ連携するにあたっては、流行りの本になってしまふが、今子どもたちが読みたくてリクエストも多くある本については、町図書館でも買ってもらえるとありがたい。</p> <p>私が購入するときに考えることは、読みたいであろう本を入れるようにしている。「ここにある本はあなたたちのためだけにあるのだから、使ってくれて、リクエストをくれて、みんなの気に入った図書館にしてほしい」とオリエンテーションのときに子どもたちに言っている。読みたい本ということは、子どもたちの情報からすると、ネットで流行っている本や、書店で平積みになっている本。それを目にして欲しいが買えないというものを、学校図書館で提供する。短命であるのはしょうがない。とにかく読んでもらって読む力をつけ、たくさん読めるようになってもらう。国語の先生からも、読めたほうが受験になったときスピードも違ってくるという話がある。中学校は最終的に受験になるので、たくさん読めるようになってもらわなければならない。</p> <p>戦争関連のコーナーをつくってみた。戦争に関する映画も多く、原作などのリクエストもあり、物語は動いた。興味がある子もいて、感動すると友達に薦める姿もあった。実体験を見ると感情移入してしまい、直視できない子もたくさんいると思う。借りずにその場に見ている子もいる。戦争をしない、平和を守るという気持ちが大事なので現実を知ることも大事だが、突き付けられたくないという気持ちや、深く知って逆に傷ついてしまうような子もいるのではないか。</p> <p>辰野町が昔ばなしに特化していくのはどうか。昔話は2年生までと言われている。小さいうちから昔話を入れていくために、保育園や小学校2年生までにとにかく昔話をたくさん読んでいくといいのではないか。</p> <p>辰野図書館100周年記念のイベントで行った「人魚姫」の人形劇。「あの結末だったか」という声があった。本物を見せるということが良い。参加者も多かったので、お金もかかることだが、年に1回くらいは子ども向けの昔話に特化したイベントをやるもの、辰野町にとって良いのではないか。</p>
事 務 局	<p>「たつの語りの会」を立ち上げようとしている。</p> <p>昔話を語り継ぐ人たちを増やしていきたいというのは図書館の願いである。</p> <p>昨年度、保育園、小学校、中学校に、読み聞かせの時間に昔話の語りをやっていいかアンケートを取り、1校以外はOKをいただいたので、すでに昔話の語りをやっている方もいる。</p> <p>子どものうちからというのは、言っていただいた通り、昔話の語りをする方の裾野を広げるためにも、語りの会を立ち上げたい。</p> <p>南小の高学年のクラス担任の先生から、子どもたちに本に触れてほしいということで、学校図書館にない本で1箱ほど貸出をした。読み慣れていない子もいるので、幅広く読みやすいものも含めて貸出をした。普段本を読んでいなかった子が面白いと言っていたというような声があった。続きを読みたいという声や、もっと読みやすい本を入れてほしいという声があり、再び先日貸出をした。このように、担任の先生が動いて、子どもたちに本に触れさせてくれている。</p>
委 員 C	中学校でも、突然ある程度のレベルのものでは困るので、小学5・6年向けのものも入れている。近年はリクエストも増えてきている。

会長	最後に嬉しい報告もあった。 以上で、協議事項を終了します。
----	----------------------------------

閉会